



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 永大化工株式会社
 コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 浦 義則

TEL 06-6791-3355

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,987	21.5	226	48.2	249	34.4	187	28.3
29年3月期第3四半期	4,926	1.1	153	93.5	185	115.0	146	71.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 190百万円 (440.2%) 29年3月期第3四半期 35百万円 (60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	29.66	
29年3月期第3四半期	23.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	8,512	6,428	75.5	1,015.47
29年3月期	8,354	6,302	75.4	995.27

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 6,428百万円 29年3月期 6,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	14.3	240	35.9	260	37.0	200	33.0	31.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,300,000 株	29年3月期	7,300,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	969,053 株	29年3月期	967,658 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,331,907 株	29年3月期3Q	6,332,707 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や雇用環境の改善など企業収益は緩やかな回復基調が続いております。一方で、中国の財政・金融引き締めによる景気減速の懸念、米国政権の政策動向の影響等による世界経済の不確実性や海外政治情勢の不安定さなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、OEM純正フロアーマットメーカーとして購買層のニーズに沿った新製品の開発から既存品の高付加価値商品化を高め、積極的な営業展開を進めるとともに、コスト競争力のある生産調達ルートの確立と生産性の向上から収益体質の強化に努めてまいりました。その結果、売上高59億87百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益2億26百万円（前年同期比48.2%増）、経常利益2億49百万円（前年同期比34.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億87百万円（前年同期比28.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①自動車用品関連

自動車用品関連につきましては、国内新車販売が好調に推移したことを受け、当社OEM純正フロアーマットの受注も好調であり、なかでも軽自動車、普通車・小型車ともに安全性能の高い車種に人気が高まり、売上が好調に推移しました。また、軽トラックおよび軽1BOXタイプ向けなどのオールウェザーマットや特別仕様車用フロアーマットの売上也好調であったことなどから、売上高45億92百万円（前年同期比27.1%増）、営業利益1億38百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

②産業資材関連

産業資材関連につきましては、冷蔵庫や洗濯機など新製品向けの家電用関連部材の売上増加およびICデバイスや各種電子部品等の搬送・保管用トレーの半導体関連部材等の売上が順調に推移しました。また、前期から本格的に取り組みを進めている下水道補修用部材の売上也軌道に乗り始めたことなどから、売上高13億94百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益88百万円（前年同期比62.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は次のとおりとなりました。

<資産の部>

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は85億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億58百万円の増加となりました。

流動資産の合計は53億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して84百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少3億57百万円、受取手形及び売掛金の増加52百万円、たな卸資産の増加3億82百万円、未収入金の減少22百万円によるものであります。

固定資産の合計は31億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して73百万円の増加となりました。その主な要因は、無形固定資産の減少16百万円、投資その他の資産の増加87百万円によるものであります。

<負債の部>

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は20億83百万円となり、前連結会計年度末と比較して31百万円の増加となりました。

流動負債の合計は16億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して44百万円の増加となりました。その主な要因は、電子記録債務の増加1億34百万円、未払法人税等の減少31百万円、賞与引当金の減少58百万円、その他の増加18百万円によるものであります。

固定負債の合計は4億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して12百万円の減少となりました。その主な要因は、役員退職慰労引当金の増加5百万円、退職給付に係る負債の減少10百万円によるものであります。

<純資産の部>

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は64億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億26百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加1億24百万円、その他有価証券評価差額金の増加26百万円、為替換算調整勘定の減少37百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想については、平成29年5月12日に公表しました通期の業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（平成30年2月9日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,872,849	1,515,722
受取手形及び売掛金	1,628,118	1,680,594
商品及び製品	648,879	903,322
仕掛品	129,583	179,509
原材料及び貯蔵品	788,354	866,686
繰延税金資産	81,577	64,742
未収入金	88,801	66,270
その他	72,280	118,173
流動資産合計	5,310,446	5,395,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	638,858	617,834
土地	1,544,809	1,544,809
その他(純額)	303,197	326,106
有形固定資産合計	2,486,864	2,488,749
無形固定資産		
土地使用権	243,935	229,156
その他	12,769	11,429
無形固定資産合計	256,704	240,585
投資その他の資産		
投資その他の資産	300,280	388,010
投資その他の資産合計	300,280	388,010
固定資産合計	3,043,849	3,117,345
資産合計	8,354,295	8,512,369
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	524,693	530,141
電子記録債務	638,580	773,296
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	16,800	12,200
未払法人税等	58,906	26,994
賞与引当金	112,521	54,405
役員賞与引当金	19,200	—
その他	180,861	198,990
流動負債合計	1,601,562	1,646,028
固定負債		
長期借入金	8,000	—
繰延税金負債	18,110	17,933
再評価に係る繰延税金負債	281,303	281,303
役員退職慰労引当金	33,729	39,333
退職給付に係る負債	109,174	98,867
固定負債合計	450,317	437,437
負債合計	2,051,879	2,083,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	3,502,089	3,626,601
自己株式	△236,933	△237,444
株主資本合計	5,710,609	5,834,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,402	41,954
繰延ヘッジ損益	—	379
土地再評価差額金	476,930	476,930
為替換算調整勘定	158,760	120,817
退職給付に係る調整累計額	△59,286	△45,790
その他の包括利益累計額合計	591,806	594,291
非支配株主持分	—	—
純資産合計	6,302,416	6,428,902
負債純資産合計	8,354,295	8,512,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,926,911	5,987,148
売上原価	3,736,009	4,578,614
売上総利益	1,190,902	1,408,533
販売費及び一般管理費	1,037,896	1,181,718
営業利益	153,005	226,814
営業外収益		
受取利息	283	235
受取配当金	2,309	2,331
為替差益	23,513	13,314
受取賃貸料	3,333	3,333
その他	6,714	4,334
営業外収益合計	36,153	23,549
営業外費用		
支払利息	631	381
その他	3,112	837
営業外費用合計	3,743	1,218
経常利益	185,415	249,145
特別利益		
固定資産売却益	944	147
投資有価証券売却益	394	—
特別利益合計	1,338	147
特別損失		
固定資産処分損	55	4,046
特別損失合計	55	4,046
税金等調整前四半期純利益	186,699	245,246
法人税、住民税及び事業税	28,290	21,518
過年度法人税等	—	19,331
法人税等調整額	12,034	16,560
法人税等合計	40,324	57,410
四半期純利益	146,375	187,835
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,375	187,835

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	146,375	187,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,770	26,551
繰延ヘッジ損益	28,684	379
為替換算調整勘定	△168,699	△37,942
退職給付に係る調整額	12,097	13,496
その他の包括利益合計	△111,146	2,484
四半期包括利益	35,228	190,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,228	190,320
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	3,612,438	1,314,473	4,926,911
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,612,438	1,314,473	4,926,911
セグメント利益	98,921	54,084	153,005

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	4,592,289	1,394,859	5,987,148
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,592,289	1,394,859	5,987,148
セグメント利益	138,733	88,081	226,814

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。